

～使命の追求～

2015年3月10日発行 1月号 No. 241

◇「第19回事故防止大会を終えて」

幹事 中村 克敏〔城東支部 (株) 中彦運送〕

昨年の18回大会にも増して、多くの会員の皆様にお集まり頂き、19回事故防止大会も無事に終了する事が出来ました。

18回大会においても、当時の「事故防止委員会」で開催内容の検討をしましてまいりましたが、もっと多くの会員に認知、参加をして頂き、従来以上に実りのある大会開催の実現、東ト協の事故防止及び環境改善活動を外部発信する必要性を強く感じておりました。

今大会の開催にあたり、「運輸安全委員会」が母体となり、9月3日に「本部事故防止大会の在り方検討小委員会」が設置され、東ト協が新たに目指す事故防止大会の内容、在り方などを月数回の会議の中で熱く議論をしましてまいりました。そして、今回のパネルディスカッションにおいて、独自の特徴ある活動をされている江戸川支部、足立支部、城東支部の活動発表と、本部青年部が継続的に行っている小学生への交通安全教室の取り組みを発表して頂きました。ご紹介させて頂いた支部も、独自の取り組みをされていく中において、多くの試行錯誤があったと思われまふ。形や方法は違っても、最終的に目指している「事故防止」と言う着地点は同じであると思ひました。そして、東ト協の会員すべてが同じ目的、方向を目指すことが「事故ゼロ」と言う大きな命題への出発点ではないかと痛感いたしました。我々の想いを外部に……。一般都民に訴えることにより、本当の意味での「事故防止」の確立がなされるのではないかと感じております。

我々東ト協全会員の想いを、例えば「フェスタ」という形で一般都民に広く伝え、官民一体となって真の「事故防止」「エコ活動」を真剣に考える時期を迎えていると思ひます。「フェスタ」開催には大きな壁がいくつもあります。しかし、まずは「一歩」を踏み出す事が東ト協の使命であり、我々日本の物流を支える運送事業者の責務だと思ひております。

2020年に開催されるオリンピックは、東京が世界に注目される絶好の機会です。我々東ト協も、日本を代表する立場として、「事故防止」「グリーン・エコプロジェクト」を広く世界に訴える「フェスタ」開催に向け進めていきたいと思ひております。

最後に、コーディネーターとして芝浦工業大学の春日伸予教授、パネリストとして日本交通事故調査機構の佐々木尋貴様には、多大なるご協力を賜りました事を、この場をお借りしてお礼申し上げます。

ありがとうございました。



【左から春日氏、永嶋氏、森本氏、藤倉氏、笠原氏、佐々木氏、中村氏】

◇スケジュール《○ロジ研行事予定》

- 3/13(金) 16:30～本部連絡会 (東ト総合会館 6階中)
- 4/10(金) 16:00～正副本部長会・勉強会 (東ト総合会館 6階中)
- 5/11(月) 16:00～正副幹事会合同会議 (東ト総合会館 4階)
- 6/ 5(金) 16:30～総会 (東ト総合会館 7階)

◇「事故防止大会」

副本部長 田中 敏之〔千代田支部長 新聞輸送(株)〕

2月19日、メルパルクホールにて第19回事故防止大会が開催されました。

第1部では来賓の皆様にご挨拶を賜り、第2部ではパネルディスカッションが行われました。今回は、『私達が取り組むべき交通安全活動を考える』と題し、コーディネーターに芝浦工業大学の春日伸予教授、パネリストに日本交通事故調査機構の佐々木代表をお迎えしました。

冒頭、春日教授より『協会内での事故防止への取り組みは素晴らしいが、この取り組みを社会に発信し、協会の活動を広めていく必要があるのではないかと問題提起があり、その事例として愛知ト協・大阪ト協のフェスタで各ト協の青年部が担当した交通安全教室等が紹介され、ディスカッションが始まり、最後に東ト協もフェスタ等の活動を通じて協会の取り組みを広めていく行動を起こすことをパネラー、回答者が確認し、閉幕しました。

交通安全教室に参加した子供達の中には、「将来大きな車を運転したい」と夢を持つ子がいました。このことからドライバーという職業の魅力を直に感じてもらうことが、将来のドライバーを育てていくことなのだと思ひ付く事ができ、大変実りのある会となりました。

また、将来的には東京ドーム等での開催を目指し、より多くの皆様に協会の各種活動を知って頂き、事故の低減とドライバー不足の解消につながる会となるよう尽力して参りたいと思ひます。



◇「ロジ研チャリティゴルフコンペ」

企画副委員長 村山 浩一〔新宿支部 (株) 村山運輸〕

3月8日(日)「石坂ゴルフ倶楽部」に於いてロジ研のチャリティゴルフコンペを開催いたしました。

当日はあいにくの小雨でしたが、青年部、女性部の皆さんもご参加いただき、参加者31名となりました。

9時17分からイン、アウト同時にスタート、新ペリア方式、NOカット他、各チャリティペナルティを設けて大変盛り上がりました。

競技終了後の成績発表では、ロジ研広報委員長の山田正信さんが優勝となり、優勝した本人が記事を書きにくいということで、私が書いている次第です。山田さんの優勝を書くのは本望ではないのですが、毎日迷惑メールをいただいている手前、仕方がないかなど………(´_`;))

その後は、石井企画委員長発案の松本本部長の第一打の行方等を問題としたウルトラクイズの結果発表等大変楽しい一日でした。

なお、成績は、優勝・山田さん(ロジ研)、2位・矢部久子さん(女性部)、3位・佐久間恒好さん(ロジ研)、4位・藤倉泰徳さん(ロジ研)、5位・前田圭次郎さん(青年部)でした。

また、我が業界に関連する団体に寄付することでご協力いただいたチャリティ募金も10万円を超えるご協力を頂きました。

ありがとうございました。